

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：5/7～5/11

・ 5/7(月)

麻生大臣のセクハラ問題に関する発言、国民民主党結党、米朝首脳会談迫る、といったトピックが報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、放送法上の問題は特に見られませんでした。麻生大臣のセクハラ問題に関する発言についての報道では一部印象操作の疑いのあるシーンが見られました。また、検証者の所感を記しました。

・ 5/8(火)

わずか1ヶ月あまりで再び中朝首脳会談、小西議員に暴言を吐いた3等空佐を訓告処分、19日ぶり・・・国会正常化などのトピックが報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、放送法上の問題は特に見られませんでした。また、番組全体について検証者の所感を記しました。

・ 5/9(水)

北に拘束の米国人3人が解放、金党委員長が電撃訪中と東京で日中韓首脳会談、米国・イラン核合意から離脱、財務省がセクハラ防止研修、両陛下が福島被災地訪問、日中韓サミット共同声明発表などのトピックが報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、放送法上の問題は特に見られませんでした。

・ 5/10(木)

加計学園、北朝鮮拘束アメリカ人解放、自民党加藤寛治議員の発言に批判続出、自民国場衆院議員が書類送検、米朝首脳会談場所がシンガポールに決定などのトピックが報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、加計学園問題については放送法上問題が見られました。

・ 5/11(金)

加計学園問題、麻生蔵相と財務省のセクハラ問題などのトピックが報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いました。特に問題は見られませんでした。なお、加計学園問題と麻生蔵相と財務省のセクハラ問題については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年5月7日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：麻生大臣のセクハラ問題に関する発言、国民民主党結党、米朝首脳会談を前に		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天気（荒天） ・ 麻生大臣のセクハラ問題に関する発言 ・ 国民民主党結党 ・ 米朝首脳会談を前に ・ シェアハウス「かぼちやの馬車」問題 ・ 側溝に流された女兒死亡 ・ ナッツ姫、水かけ姫の母に出頭を求める ・ ハワイキラウエア火山噴火 ・ 大川小訴訟、上告へ ・ 新潟・阿賀野で“遭難” ・ スポーツ ・ 23Today <ul style="list-style-type: none"> 大雨帰宅ラッシュを直撃 柳瀬氏を参考人招致へ 福島農産物 PR、TOKIO を継続起用 「袴田事件」再審認めるか東京高裁来月 11 日判断へ 大阪府警の警部補を飲酒運転で逮捕 ・ 天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 麻生大臣のセクハラ問題に関する発言→結論：問題なし <p>今回の報道は麻生大臣のセクハラ問題に関する発言についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 343 秒であった。</p> <p>加計学園問題や財務省前次官セクハラ問題などで半月以上にわたり主な野党が審議に応じないなど不正常的な状態が続いた国会だが、明日からの正常化で与野党が合意した。しかし、麻生大臣の発言をめぐるデモが起きたと報じた。</p> <p>午後 6 時前、自民・立憲民主の国会対策委員長が大島衆院議長のもとを訪ね、三権の長が異例の仲介に動き、18 日間に及んだ野党 6 党の審議拒否によりやく終止符が打たれた。また、これに対して、安倍首相は「議論するために我々国会議員になっているわけでありますからこの本来の役割を果たすように野党と交渉しながら正常化に向かっている。」と述べた。</p>		

参考人招致の見通しの柳瀬元首相補佐官は「これまでも一貫して申し上げてきたとおり誠実にしっかりと国会でお話させていただきたい」と述べた。

国会がようやく正常化に向かう中で、福田前次官のセクハラ認定について、麻生財務大臣は「セクハラ罪という罪はない。殺人とか強制わいせつとは違いますから訴えられないかぎりには親告罪ですから。」と発言したうえで、福田氏の処分については、麻生大臣は「役所に対しての迷惑とか役所に対して品位を傷つけたとかいろいろな表現があるがそういった意味で処分させていただきました」と述べた。

こういった発言に対して、今夜女性団体関係者らが SNS などを通じて呼びかけたデモがあり、セクハラを許さないと書いたプラカードやスピーカーを財務省に向け抗議した。

スタジオで星キャスターは「双方にとって潮時、痛み分けという感じじゃないですかね。与党のほうは法案審議が相当滞ってますので、政策に影響が出てまして、正常化のタイミングとタイムリミットかなということで、野党の方は内部からね、いつまで審議拒否してるんだという批判がでたりしてこのまま長引くとねこのまま対立になっちゃうんじゃないかなとそういう懸念もありましたからね。」と述べたうえで、星キャスターは続けて、「柳瀬さんも記憶を呼び戻してどうも加計学園と会ったみたいだというふうになってますんで、その証言を突破口に安倍総理との関係をどこまで追及できるかというのがありますよね。まあ、それから、相次ぎ麻生さんのセクハラをめぐる問題発言。まあ、森友問題はですね、どうも財務省の内部調査がまとまります。それから、自衛隊の日報問題と本当に突っ込みどころ満載ですのでどこまで追及できるかが勝負になりますけども、やっぱり、最大の問題として米朝のね首脳会談を控えて外交問題もしっかりと議論してもらいたいと思いますね。」と述べた。

・国民民主党結党→結論：問題なし

今回の報道は国民民主党結党に関する発言についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 123 秒であった。

民進党と希望の党が合流してできた国民民主党の玉木雄一郎共同代表は「国民生活を守る現実的な政策を提案できるのは自分たちしかない。」と述べた。

野党第一党を目指し民進希望が合流した新党であったが、衆参 107 人中参加したのは 62 人で 4 割が参加しなかった。民進党の小川参院議員会長もその一人で、立憲民主党に「私ほか 8 名入党よろしくお願ひ申し上げます」というと、枝野代表も「よろしくお願ひします」と答えた。希望の党の大串議員やや民進党の野田前総理も不参加を表明し、ともに無所属で活動することとした。国民民主党は野党第一党に及ばず、議員数は立憲民主党が野党第二党で 73 人となった。

・米朝首脳会談を前に→結論：問題なし

今回の報道は「米朝首脳会談を前に」についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 293 秒であった。

米朝首脳会談を前に激しいかけひきに関しての報道である。北朝鮮はアメリカに対しては朝鮮半島情勢を再び緊張させようとしている。日本に対しては 1 億年たっても北朝鮮の神聖な地を踏めないと批判し、史上初の米朝首脳会談を前に北朝鮮の批判が強めた。

アメリカトランプ大統領は「米朝首脳会談の旅の日程が決まった 日付と場所が決まったのでほどなく発表す

るだろう」と述べたが、米朝首脳会談に関する発表なかった。

北朝鮮は国営メディアを通じてアメリカ批判を展開した。昨日、朝鮮中央通信は北朝鮮外務省の報道官の話を報じたところによると、アメリカは南北首脳会談で採択された板門店宣言で示した我々の非核化意思に関して制裁と圧力の結果であるかのように世論をミスリードしている。さらに、我々の完全な核放棄まで制裁と圧力を続けると唱え朝鮮半島情勢を再び緊張させようとしているとのことであった。

米朝首脳会談に関する日時や場所の発表が遅れた理由について専門家は北朝鮮が早期発表を渋っているのではないかと推測した。

北朝鮮情勢に詳しいジャーナリスト平井久志氏は「トランプ大統領はおそらく実際に交渉している人たちから内々の合意みたいなことを言われてそれを軽く言ったということだと思うが北朝鮮の場合はトップの警備の問題を非常に重大視するということがあるのでトップの行事が1か月も前とか何週間も前に発表されることはほとんど前例がない」と述べ、さらに、「トランプ大統領の側近・ポンペオさんあたりは板門店ということに対してはちょっと消極的だと。板門店というのは朝鮮戦争の休戦協定の象徴のような場所ですから朝鮮版 t 脳の平和構造の問題が大きなテーマで浮かび上がってくるので北朝鮮の非核化を実現するんだというトランプさんの意図がやや薄くなるのでは」と述べた。

そこで最有力地として候補に浮上しているのがシンガポールで、韓国メディアはシンガポールが中立的な交渉部隊として利点が多く警備面やメディアのアクセス面でも申し分がないという評価を受けていると報じた。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・麻生大臣のセクハラ問題に関する発言→印象操作の疑いが濃厚

星キャスターの「柳瀬さんも記憶を呼び戻してどうも加計学園と会ったみたいだというふうになってますんで、その証言を突破口に安倍総理との関係をどこまで追及できるかというのがありますよね。」という発言からは、実際の事実関係は不明確にも関わらず、この報道では普通の注意で視聴を行う一般の視聴者に対して安倍総理と加計学園の問題に関係があることが事実であるかのような印象を抱かせるようなものであると考えられ、印象操作の疑いが濃厚といえる。

検証者所感

国会で問題を追及する野党側の視点に立った解説が目立った。とはいえ、それ以外にも触れており、印象操作があるとまではいえない。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年5月8日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
<p>検証テーマ：</p> <p>わずか1ヶ月あまりで再び中朝首脳会談、小西議員に暴言を吐いた3等空佐を訓告処分、19日ぶり・・・国会正常化</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟市内で女儿殺害 ・わずか1ヶ月あまりで再び中朝首脳会談 ・セクハラ問題（初めてセクハラを訴えた女性） ・強盗事件に関与した警察官を公開手配 ・小西議員に暴言を吐いた3等空佐を訓戒処分 ・19日ぶりの国会正常化 ・スポーツ ・23TODAY <p>線路で女の子が首を絞められ殺害 金正恩党委員長、習近平国家主席と会談 新潟で遭難した小1男児と父親の捜索続く マンションに40歳女性遺体住人男性の行方捜査 武田薬品が大型買収で合意過去最大6.8兆円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わずか1ヶ月あまりで再び中朝首脳会談→結論：問題なし <p>今回の報道はわずか1ヶ月あまりで再び中朝首脳会談に関する発言についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は387秒であった。</p> <p>3月に下旬にも北京で会ったばかりである金正恩党委員長と習近平国家主席は、極めて異例の短期間で再会談を行った。午後8時ごろ中国国営の中国中央テレビは、北朝鮮の金正恩党委員長が中国の大連を訪れ、習近平国家主席と会談した様子を伝えた。</p> <p>中国中央テレビは、親切・友好的な雰囲気の中で両国の最高指導者が一中朝関係および共同で関心事である重大問題について全面的に意見交換したと報じた。</p> <p>北朝鮮の金正恩党委員長は「中国の同志たちの決然とした指示声援と協力が大きな鼓舞になります。」と発言し、中国の習近平国家主席は「中朝関係は運命共同体です。」と発言したとされた。</p> <p>スタジオでは、星キャスターは「6月のはじめまでにですね、米朝首脳会談は開催が予定されていたんですけ</p>		

放送法遵守を求める視聴者の会

ども日本政府の関係者によりますと、どうもアメリカと北朝鮮の話がかなり難航しましてね、トランプ大統領がこれならちょっと首脳会談は延期だと言い始めているんですね。そこで、正恩さんも習近平さんに側面支援を求めたんじゃないかとそういうことだと思ふ。実際、この会談終わってから習近平首席はトランプ大統領に電話をすることになっていますので、おそらくそういうことだと思ふんですけども、どうも中身としては北が非核化の途中で前段です、見返り、制裁解除の見返りを求めているんですけど、アメリカはそこは断固として受け付けられないということで、ちょっと溝があるようなんですね。」と述べた。

さらに、星キャスターは「ここにきて中国の存在感が俄然大きくなってきてますよね。米朝会談というのを控えて、中国がどういう動きをしているのか明日の日中韓の首脳会談はおそらく中国の立ち位置を窺うことになると思ふんですね。ですから、安倍総理もここでやっぱり存在感をアピールしてもらいたいと思ふですね」と述べた。

・小西議員に暴言を吐いた 3 等空佐を訓戒処分→結論：問題なし

今回の報道は小西議員に暴言を吐いた 3 等空佐を訓戒処分についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 45 秒であった。

防衛省は無所属の小西参議院議員に対し、不適切な発言を行ったとして統合幕僚監部の 3 等空佐訓戒処分にしたと発表した。小西議員への「ばか」「気持ち悪い」などと発言し、自衛隊法の「品位を保つ義務」に違反していると認定された。3 等空佐は訓戒処分とした上で福岡県に移動させることになった

これに対して、小西洋之参院議員は「シビリアンコントロールの重みを考えた時懲戒ですらないというのは軽いと思ふ。」と述べた。

・19 日ぶりの国会正常化→結論：問題なし

今回の報道は 19 日ぶりの国会正常化についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 21 秒であった。

国会は今日午後から衆議院本会議が開かれ与野党の全会派が出席し、19 日ぶりに正常化した。国会が終盤を迎える中、政府・与党「働き方改革関連法案」や「カジノ整備法案」など会期内に成立させたいと考えて、与野党の攻防は一層激しさを増しそうであると報じた。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

今回のトピックでは、事実に関する報道及び中朝首脳会談を主とした内容であり、純粋に国内の政治が深くかわるという内容ではなかったせいも特に大きな問題は見られなかった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年5月9日
出演者：【キャスター】皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙 佐藤祥太（ワシントン支局局員）		
検証テーマ：北に拘束の米国人3人が解放、金党委員長が電撃訪中と東京で日中韓首脳会談、米国・イラン核合意から離脱、財務省がセクハラ防止研修、両陛下が福島被災地訪問、日中韓サミット共同声明発表		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【速報】北に拘束の米国人3人が解放 ・金党委員長が電撃訪中と東京で日中韓首脳会談 ・新潟女子殺害 ・米国・イラン核合意から離脱 ・財務省がセクハラ防止研修 ・東京メトロ社員らが女性暴行 ・森永・通販サイトから情報流出の疑い ・広島・母娘殺害事件 ・スポーツ報道 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> 群馬県警刑事が強盗事件 事件当日は休暇 両陛下が福島被災地訪問 トヨタ、過去最高の最終利益 ・天気予報 ・【速報】日中韓サミットの共同声明発表 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北に拘束の米国人3人が解放→結論：問題なし。 番組冒頭、北朝鮮に拘束されていた米国人3名が解放され、ポンペオ国務長官と共にアメリカに帰国中であることが報じられた。中継映像において横田基地の様子が伝えられ、一行が乗ってきた飛行機などが紹介された。 その後、ワシントン支局の局員による一連の経緯説明や、今回の解放に関わるアメリカと北朝鮮両国の意図などが解説された。 再度、スタジオに戻り、星キャスターから「この3人の解放で北朝鮮は米朝首脳会談に向けた最初のハードルを超えたと言っていいと思います。ただ、北朝鮮はおそらく何らかの見返りを求めたはずで、それにアメリカがどう応えたのか。その辺は今後明らかになってくると思います。」というコメントが述べられた。 このトピックに当てられた報道時間は160秒で、放送法上の問題も特に見られなかった。 ・金党委員長が電撃訪中 東京で日中韓首脳会談→結論：問題なし。 トピックは大きく分け2つであった。 まず、金正恩党委員長の訪中について。朝鮮中央テレビの報道を通じて北朝鮮の金正恩党委員長が訪中した様子が報じられた。北朝鮮の訪中について専門家の意見として慶応大学准教授の磯崎敦仁氏は「大変異例です。 		

金正恩委員帳が自らなにか相談をする必要があった。必ずしも北朝鮮の思うようにっていない。アメリカと合わないところがあるのでしょう。」と述べ、北朝鮮の電撃的な訪中の意図を解説した。

その後、トピックは日本に移り、日中韓首脳会談の様子について報じられた。この会談の後、共同記者会見が開かれ、安倍首相が「拉致問題の早期解決に向けて私から両首脳の支援と協力を呼びかけ、日本の立場に理解を得ました。」と発言。韓国ของムン・ジェイン大統領が「朝鮮半島の完全な非核化と恒久的な平和定着、南北の関係改善が半島はもちろん北東アジアの平和と安定にとって大変重要であるという認識で一致しました。」と発言。李克強首相が「我々は朝鮮半島の核問題を解決し、改めて非核化の方向に戻り、対話の軌道に戻ることを歓迎いたします。」「米朝首脳会談を期待し、日朝の対話を支持します。」と発言したことが伝えられ、3カ国の北朝鮮への関わり方のスタンスの違いが見える内容であったとまとめられた。

3カ国首脳会談の後には日韓首脳会談が行われ、ムン・ジェイン大統領が「過去の様々な失敗の経験もありますので、非核化という大原則には具体的にどのように実現していくのか、具体的にどのような方法をとって合意していくのか難しい問題だと思います。」「南北間の対話のみならず、日朝間の対話、関係正常化が必要だと思います。」という発言が紹介された。

今トピックに当てられた放送時間は 404 秒であり、賛否の分かれる点や放送法上の問題は見られなかった。

・米国・イラン核合意から離脱→結論：問題なし。

冒頭、日本の石油料金が高値になっていることが報じられ、これがイラン核合意離脱についての報道のきっかけとなった。

その後、トランプ大統領がイラン核合意から離脱する発表を行ったことが報じられた。トランプ大統領は「現在の合意の腐りきった構造ではイランの核兵器を阻止できないことは明らかだ。」と述べる様子が映され、イラン核合意の内容や問題点などの経緯説明が為された。また、今回の離脱は北朝鮮に向けてのメッセージとして「アメリカは中途半端な取引はしないという明確なシグナルだ。」というボルトン大統領補佐官の音場が紹介された。

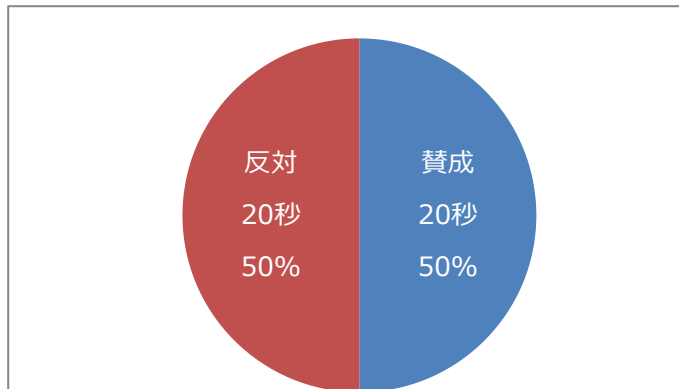
アメリカの核合意離脱に関するイラン国民と各国の声として様々な声が紹介された。イランのロウハニ大統領は「合意を守らないのはアメリカだ。」と反発する声が紹介された。また、イランの市民の声として「トランプ大統領の発表でイランの状況はさらに悪くなるでしょう。」「イラン人みんながトランプが一番クレイジーだと分かっています。」という2つの意見が紹介された。フランスのマクロン大統領はツイッターで「アメリカの決断を残念に思う。核不拡散の体制は危機にひんしている。」とツイートしたことが報道された。日本においても菅官房長官が「核合意の維持に大きな影響が出るとすれば極めて残念だと思います。」と発言した。イギリス、ドイツ、フランスの3カ国は合意に留まる考えが表明された。

トランプ大統領の傾向としてオバマ前大統領の政治遺産を批判する傾向があることが伝えられた後、オバマ大統領の「イランによる違反がないのに核合意を危険にさらすのは深刻な過ちだ。」という批判などが紹介された。

スタジオに戻り、星キャスターからこれはアメリカ国内だけではなく、世界情勢にも大きな変化だと思いますけれども。オバマさんの時代はメルケルさんや安倍総理も含めて民主国家全体で金正恩党委員長やロウ

ハニ大統領に対して非核化とか民主化を求めてきたわけですよね。その流れの中に中国やロシアも基本的には同調せざるを得なかったというわけですけども、トランプさんになって一変しました。トランプさんはアメリカ・ファーストという立場で、金正恩さんとも単独で交渉し、今度はイランと核合意を破棄するという事になったわけですよね。そうすると今まで束ねてきた民主国家の枠組みが外れてプーチン大統領や習近平国家主席もそれぞれ独自の動きをするということになりまして、これはどうもオバマさんからトランプさんに代わった非常に象徴的な出来事という気がしますね。」という解説が付け加えられた。

今トピックにおいては、トランプ大統領側の意見を賛成、トランプ大統領を批判する意見を反対として賛否計測を行った。結果は以下の通り。



極めて公平な時間配分であることが判る。これは放送法第四条の観点から見た場合高く評価される例である。

今トピックに当てられた放送時間は 351 秒であった。

・財務省がセクハラ防止研修→結論：問題なし。

セクハラ関連の話題で揺れる財務省において幹部職員を対象にしたセクハラ防止の研修会が行われたことが報じられた。研修会講師の弁護士は「財務省の感覚・認識と世の中の常識が非常にずれている。対策をしっかりとやっていますというアピールのためにこの研修会が開かれているとしたらそれは全く意味がない。」と釘をさす様子が VTR で紹介された。

このトピックに当てられた報道時間は 73 秒で、賛否の分かれる点や放送法上の問題は見られなかった。

・両陛下が福島被災地訪問→結論：問題なし。

両陛下が福島県の被災地を改めて訪問されることが報じられた。訪問地として原発事故で避難している住民らと懇談する他、福島第一原発の周辺地域を事故の後、初めて車で通過される予定などが紹介された。

また、両陛下というお立場での被災地訪問はこれが最後となるであろうこともあわせて紹介された。

このトピックに当てられた報道時間は 26 秒で、賛否の分かれる点や放送法上の問題は見られなかった。

・日中韓サミットの共同声明発表→結論：問題なし。

番組の最後に日中韓首脳会談の共同声明が発表されたことが伝えられた。共同声明には『我々は朝鮮半島の完

NEWS23 週刊報告 詳細版

全な非核化にコミットしている』との文言や拉致問題の文言が入れ込まれたことが伝えられた。

また、今回の共同声明は発表までの時間が非常に長く、取りまとめに時間がかかったことがキャスター陣からの感想として述べられた。

このトピックの報道時間は14秒で、放送法上の問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感

特になし。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送日： 2018年5月10日
-----------	-------------	-----------------

出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙

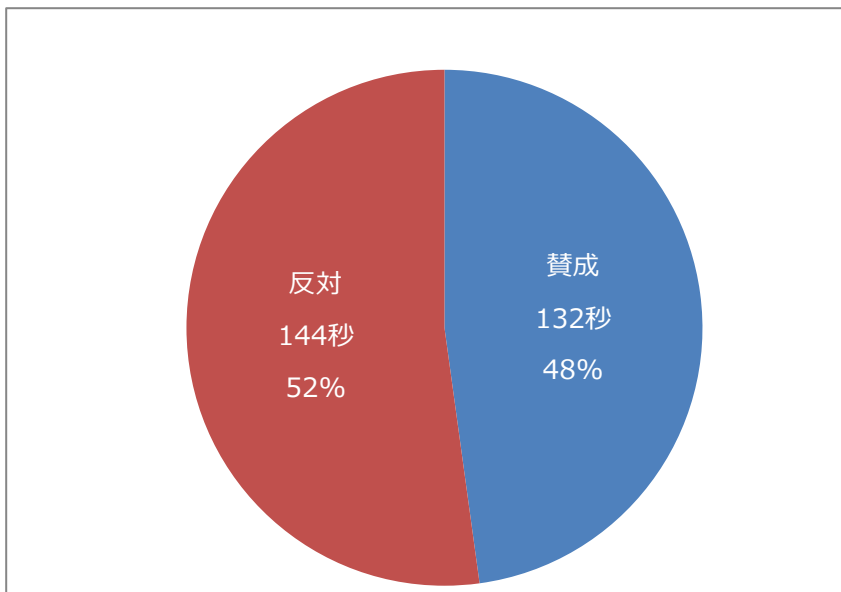
検証テーマ：加計学園、北朝鮮拘束アメリカ人解放、自民党加藤寛治議員の発言に批判続出、自民国場衆院議員が書類送検、米朝首脳会談場所がシンガポールに決定

報道トピック一覧

- ・加計学園
- ・北朝鮮拘束アメリカ人解放
- ・新潟小二女児殺害
- ・自民党加藤寛治議員の発言に批判続出
- ・韓国財閥グループ会長脱税疑惑
- ・福岡マンション女性殺害
- ・自民国場衆院議員が書類送検
- ・スポーツ報道
- ・天気予報
- ・米朝首脳会談場所がシンガポールに決定

放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨

- ・加計学園→結論：放送法第四条第一項第四号照らし合わせると不十分。
加計学園をめぐる問題で柳瀬元総理秘書官らへの参考人招致が行われたことについての報道であり、このトピックスに充てられた時間は639秒であった。柳瀬氏の主張を肯定する意見を賛成、否定する意見を反対として集計したところ、賛否の時間配分比率は以下のようになった。



賛成意見の大半は柳瀬氏本人の国会答弁で占められていた。柳瀬氏本人を除外すると国家戦略特区ワーキング

グループの八田達夫座長の「この会談が私どもの獣医師獣医学部新設に影響を与えたことは一切ございません。」と柳瀬氏と加計学園関係者との面会についての影響を否定する発言のみであった。

反対意見としては愛媛県の中村時広知事が柳瀬氏の発言を受けて「時折、愛媛県の信頼を損ねるような発言があったのは非常に残念。人間ってのはね誇りってのがあるんですよ。プライドってのがあると思うんですよ。そういうものに対してなぜ思いを馳せていただけないのか。」と不快感を示していた。また衆院議員の江田憲司氏は「私の総理秘書官としての常識に反することばかりで、本当正直あの驚いてますよ。」「江田：私の時もそうでしたけど、総理大臣を囲んでランチをするんですよ。その中でいろんな雑件を上げていくと。あなたは一切この話を雑談でもしなかったんですか安倍総理に。おかしいじゃないですか。」「私に言わせればね、それはあなたがああ口に絆創膏でもしてない限り、絶対それは言うんです。」と総理秘書官の時の経験をもとに批判していた。

自民党議員の否定的な見解も紹介され、石破茂衆院議員は「石破：総理に秘書官が報告をしないってことは普通考えられない。個人で会ってるわけじゃないですからね。(総理の)分身として会ってるわけだから。」と発言していた。また立憲民主党の蓮舫議員、長妻昭議員。社民党の福島みずほ議員の発言がそれぞれ取り上げられた。

以上を受けてスタジオで星浩氏は「極めて異例ですね。忙しい中抜け出したわけですからね。非常に不自然だと思います。さらに不自然なことあるんですけど、それほど時間を割いたのに、安倍総理に報告してないわけですよ。何のためにその抜け出してあったのかってことになりますよね。それから今日の答弁ですが矛盾点が見えてきたんですね。柳瀬さんはですね、加計さんと会ったということなんで、業者の人にもかからず業者の選定には関心がないって言うんですね。自分が関心があるのをやる国家戦略特区っていう制度何だって言うんですね。これは恐らく加計学園で業者に会ったことに対する言い訳だと思ってるんですけども、あの頃よくよく考えますと、この国家戦略特区っていう制度はですね、自治体がやることになってるんですね、本当に制度に関心があるなら自治体ときちんと身をすべきなんで、その辺がどうも辻褄が合わなくなっちゃった。柳瀬さん色々防御線を張ったんだけど矛盾は全然消えてないということだと思いますね。」と柳瀬氏の発言を否定していた。

賛否の時間比率上は一見問題は見られないものの、賛成意見のほとんどが柳瀬氏自身の発言が大半を占めている点は意見の多角性を保持できているとは言い難い。よって放送法四条第一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。」に照らし合わせると不十分であると考えられる。

- ・北朝鮮拘束アメリカ人解放：放送法四条の見地からは問題なし

北朝鮮が解放した3人のアメリカ人をトランプ大統領自らが出迎えに訪れた報道。また注目されている米朝首脳会談の会談場所にも触れられ、会談場所としてシンガポールが最も有力視されていると報じられていた。また北朝鮮情勢に詳しいとされるジャーナリストの平井久志氏は「北朝鮮だって僕はメリットがあると思うのは、金正男さんがクアラルンプールで暗殺されたことで、東南アジアにおける北朝鮮のイメージが非常に悪くなったわけですよ。そういう意味でこの会談がアメリカだけではなくて、東南アジアとの関係改善に重要な役割を果たすということも考えられる。」とシンガポールが有力視されている経緯について解説していた。

このトピックスに充てられた時間は379秒であり、賛否が分かれる点は見られず放送法上も特に問題点は見当たらなかった。

- ・自民党加藤寛治議員の発言に批判続出→結論：放送法四条の見地からは問題なし

NEWS23 週刊報告 詳細版

自民党の加藤寛治衆議院議員が女性に結婚出産を強制するとも取られかねない発言をして党内に物議をかもしていることについての報道であり、このトピックスに充てられた時間は 94 秒であった。加藤氏の発言について肯定的な意見は見られず、反対意見としては自民党議員による発言がナレーションで「実情を分かっている。これこそセクハラだ。」と紹介されていた。しかし加藤議員が自身の発言を撤回謝罪している点を考慮すると反対意見に偏るのも致し方ないと考えられ、放送法の見地からは問題ないとする。

- ・自民党衆議院議員が書類送検→結論：放送法四条の見地からは問題なし

自民党副幹事長の国場幸之助衆議院議員が先月 29 日、那覇市の路上で観光客の男性ともみあいになり大げがをしたことについての報道であり、このトピックスに充てられた時間は 20 秒だった。なお今回は対立点や論点などは見当たらなかった。

- ・米朝首脳会談場所がシンガポールに決定→結論放送法 4 条の見地からは問題なし

アメリカと北朝鮮の首脳会談について、トランプ大統領が 6 月 12 日にシンガポールで行うとツイッターで発表したことについての速報。ワシントンの佐藤祥太記者は「佐藤：トランプ大統領 10 分ほど前にですね、Twitter で非常に期待されていた金党委員長と自分との会談はシンガポールで 6 月 12 日に行う。世界平和にとって非常に重要な瞬間になるよう双方で努力する。としています。機能ありました北朝鮮に拘束されていた 3 人の解放のニュースがそうでありましたように、またもやトランプ氏のツイッターでこの重要な案件の発表となりました。政権にとって非常に重要な案件だった 3 人の解放を自分が見届けたまさにその勢いで 7 時間ほど後にですね、非常に注目されていた首脳会談の場所を発表しました。元々首脳会談の場所については南北の軍事境界線上にある板門店などが入っていましたが、トランプ氏がこれを否定。そして米朝双方と国交があるシンガポールでの開催が濃厚と見られていました。この背景として警備がしやすい他、メディアのアクセスもしやすいということがあったという風に思われます。史上初の米中首脳会談ですけども歴史的な指導が成果をあげられるか期待されています。以上中継です。」と報告していた。

また報告を受けて星浩氏は「そうですね。これはね。ミソはですね、6 月 8 日と 9 日カナダに G7 の首脳会談があるんですね。日本とかアメリカヨーロッパの各国が集まる。そこでは西側の各国の意見を調整して、米朝首脳会談に向かおうという意味では、もしかしたらトランプ最初からこの日程を狙ってたのかもしれない。日本にとってみると日米首脳会談ありますのでね、拉致問題が解決をプッシュするいい機会になると思いますね。」と解説していた。このトピックスに充てられた時間は 152 秒であり、対立点や論点などは見当たらなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感
特になし

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年5月11日									
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙											
検証テーマ：加計学園問題 麻生蔵相と財務省のセクハラ問題											
報道トピック一覧											
<ul style="list-style-type: none"> ・遠足中の高校生7人救急搬送 過呼吸か？ ・新潟 小2 女児殺害事件発生から5日 ・史上初の米朝首脳会談まで1か月 ・中村愛媛県知事、柳瀬元首相秘書官の名刺を公開 ・麻生蔵相、財務省セクハラ問題をめぐって「女性記者にはめられた可能性がある」と発言し、野党から批判 ・春の叙勲伝達式 北野武さん、加藤一二三さんら出席 ・スポーツ ・23Today 											
中国李首相が訪日を終え、帰国											
大韓航空チョ前専務、パワハラ行為で会議の進行を妨げたとして書類送検											
巨大タイヤが落下。付近の国道が8時間にわたって通行止めに											
・天気予報											
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨											
<ul style="list-style-type: none"> ・加計学園問題：結論→問題なし 											
放送時間計:297秒											
賛成（柳瀬氏の答弁の矛盾を指摘する中村知事）91秒 割合:56%											
反対（柳瀬氏の答弁）71秒 割合:44%											
<p>学校法人加計学園による獣医学部新設問題をめぐり、参考人招致での柳瀬元首相秘書官の答弁とその内容の矛盾を指摘する中村時広愛媛県知事の発言が取り上げられた。</p> <p>本放送では、VTR への導入として、</p> <p>まずスタジオに用意されていた、本日中村知事が公開した柳瀬元秘書官の名刺を拡大コピーしたパネルを見せながら、「こちらはある名刺です。上には平成27年4月2日という日付。その下には内閣総理大臣秘書官・柳瀬唯夫とあります。更にその下出身官庁を意味する「経産」の文字。こちらは愛媛県知事が今日ある出来事を裏付けるために公開した名刺です。」と、「加計学園」という単語を用いずに、取り扱う内容を紹介した。</p> <p>VTR に移ると、まず男性ナレーターによって「愛媛県の中村知事はこう不満を顕わにしました。「県の職員が会った会わなかったという単純な話がなんでずると引きずられていけないのかなと」「昨日の参考人招致で加計学園関係者との面会を認めた一方で、愛媛県職員との面会については会ったか会わなかったか分から</p>											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>意見</th> <th>時間 (秒)</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賛成</td> <td>91</td> <td>56%</td> </tr> <tr> <td>反対</td> <td>71</td> <td>44%</td> </tr> </tbody> </table>	意見	時間 (秒)	割合 (%)	賛成	91	56%	反対	71	44%
意見	時間 (秒)	割合 (%)									
賛成	91	56%									
反対	71	44%									

ないと発言したため、中村知事は反発したというのです。」「そして、公開された名刺には確かに柳瀬氏の名前が。経産省からの出向であることや面会の日付も記されています。更に中村知事は昨日の柳瀬氏の答弁に次々と疑問を投げかけました」と、
中村愛媛県知事が愛媛県職員との面会の記憶の有無を明らかにしない柳瀬元秘書官の答弁に対して不満を顕わにしたことを紹介した。

次に、柳瀬元秘書官の国会答弁の VTR が流され、そのなかで「面会ではメインテーブルの真ん中にいらっしやいました元東大教授がほとんどお話になっていて、そのため随行されていた方の中に愛媛県の方や今治市の方がいらしたかの記憶は残っていません」と語った場面が取り上げられた。

すぐさま、それに対する中村知事の反論に場面が変わり、「県の職員はまさにメインテーブルにいまして、「どんな配置だったのか？」と聞くと、こちら側は 6 人で真ん中を含めた右側 3 人が愛媛県職員です。」と、愛媛県職員がメインテーブルの中心部に着座していたとして、それに関わらず県職員の存在を認識していないとした柳瀬氏の見解に疑問符を唱える中村知事の発言を取り上げた。

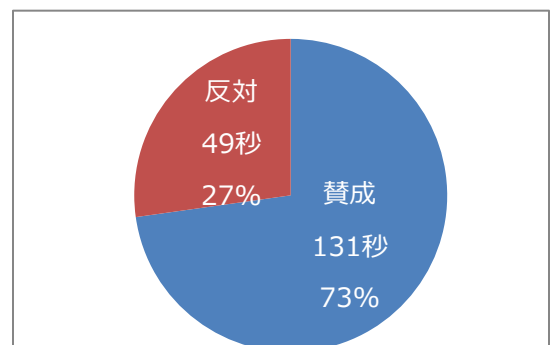
次に、男性ナレーターが「なぜ柳瀬元秘書官は県職員を覚えていなかったのか？」との問題提起が行われ、それに対して、柳瀬氏が「メインにお話された方は覚えているが、あまりお話にならなかった方は記憶からだんだん抜けていく。それは人間として普通のこと」と弁解する参考人招致の VTR が流され、

先ほどと同様に、中村知事による「(柳瀬氏) より県職員はなにも話さなかったという発言があったが、県の職員は首相官邸で県の立場を説明するために行っています。子供の使いで行っているわけではありません」「(面会が)首相官邸で行われる以上、メモを見ながら話すのは県庁職員の誇りとしてやってはダメだと、一生懸命頭に叩き込んで発言した」との県職員の立場を擁護する反論を取り上げた。

最後に、面会に同席した愛媛県庁職員のメモをプリントアウトしたものを見せながら、男性ナレーターが「県庁職員が柳瀬氏と面会した時に作成したメモ。柳瀬氏が「首相案件」と述べたことが記されています」と事実関係を説明したうえで、それに対する柳瀬氏の「片方がメモをとって、もう片方がメモを取らなければ、メモを取った方が常にこうだと後で言えるのは、それはちょっとさすがにおかしい」との弁明、「偽りのもの、極論を言えばウソというのは、発言した人にとどまることなく、第三者、他人を巻き込んでいく」と「ウソ」という表現を用いて柳瀬氏を批判した中村知事の発言をそれぞれ紹介した。

放送時間の配分という点では、柳瀬氏の国会答弁における発言、そしてその矛盾を指摘する中村知事、両方の見解が 50:50 に近い形で紹介されており、特段の問題はないといえよう。

・財務省セクハラ問題：結論→問題なし
賛成（野党議員、有識者による麻生発言批判） 131秒 割合：72%
反対（麻生蔵相の発言、有識者による麻生擁護発言） 49秒 割



合：28%

麻生太郎蔵相が、衆院財務金融委員会において、財務省セクハラ問題に関して「女性記者にはめられた可能性がある」と発言したことについて、野党議員から批判を浴びていることが紹介された。

まず、麻生蔵相の当該発言の引き金となった尾辻かな子衆院議員（立憲民主党・比例近畿）の「福田前事務次官がはめられた可能性もあるというふうにおっしゃっておられました。今もまだ福田前事務次官ははめられたと思っていますか？」との質問、そしてそれに対する麻生蔵相の「そういう可能性もあるというのは、よく言われている話ですから、そういう可能性は否定はできません。本当に事実かもしれませんから」との答弁がVTR付きで紹介された。

その後、宮本徹衆院議員（共産党・比例東京）の求めに応じて、麻生蔵相が「ご指摘の通りであれば、撤回させていただきます」と発言を撤回したことを報じた。

それを受けての宮本衆院議員の「太田理財局長もセクハラ防止の研修を受けて、認識を新たにすることがたくさんあったと。麻生大臣もセクハラ防止について改めて学ばれる場を持たれた方がいい」という発言が紹介され、ここで国会論戦の報道から先日行われた財務省のセクハラ防止研修の様子を紹介するVTRに場面が変わった。ただ、研修の紹介そのものは20秒程度にとどまり、

「今朝の麻生氏の発言に対して、講師を務めた弁護士は」とのナレーションのもと、今回の研修で講師を務めた菅谷弁護士のインタビューに移り変わり、「仮に麻生弁護士が憶測でそのようなことを仰っているのであれば不適切。研修をしている中で、またもやこうした発言をされたことはセクハラに対する認識も含めてすごく残念。発言の撤回をするのであれば、最初から発言を控えてほしかった」「二次被害ともいわれ、後の取り扱いや受け止め方でさらに被害を大きくしてしまうことが多くある。それだけ繊細な事案だという理解を持ってもらいたい」と麻生蔵相の発言を問題視する菅谷弁護士の見解を取り上げた。

ここで、スタジオに戻り、雨宮キャスターが「発言って撤回すれば済むことなのではないでしょうか？」と問題提起し、それに対して星キャスターが「財務省は事務当局で調べて、セクハラの実態を認定している。ところがその財務省のトップである麻生大臣が弁明するのは支離滅裂だし、二次被害になりかねない暴言。麻生氏の一連の暴言を許している安倍総理の責任にも」と麻生蔵相の姿勢を批判したうえで、5年にわたって麻生氏を留任させている安倍首相の人事上の責任にも言及した。

放送時間としては、賛成（野党議員、有識者による麻生発言批判）73%、反対（麻生蔵相の発言、有識者による麻生擁護発言）27%と、両者の間に大きな差が開いた。

その要因として、菅谷弁護士による麻生氏の発言を問題視する見解が100秒以上紹介された一方で、反対サイドは麻生蔵相自身の委員会答弁の紹介に留まり、それを擁護する外部有識者の声がなかったことが一因といえる。ただ、今回の問題が女性記者に対するセクハラという、一般通念上、とりわけ男性にとっては公に擁護することがはばかられる内容であり、仮に募ったとしても名乗り出る者がいたどうかは疑わしいものであるが。

国会での応酬の部分に限っては、麻生蔵相の発言とそれを追求する野党議員の発言の間に時間的な大きな隔たりは存在せず、最低限の公平性は保たれていたように思える。

放送法遵守を求める視聴者の会

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
とくになし

検証者所感

・加計問題

柳瀬元首相秘書官の答弁のところどころに事実誤認や虚偽が含まれていることは、獣医学部の新規設置にあたって、学校法人加計学園を選定したプロセスに問題があったか否かという問題とは分けて検討する必要があるが、とはいっても行政官ひいては行政全体に対する信頼を低下させかねない行為であり、5分の時間をかけて特集することは国民の知る権利に資すると考える。また、柳瀬元秘書官の答弁とその矛盾を指摘する中村愛媛県知事の主張を時間ベースでほぼ等しく取り上げられており、放送法4条の見地からも評価できる報道であったと思う。

・麻生蔵相、財務省セクハラ問題をめぐって「女性記者にはめられた可能性がある」と発言し、野党から批判
野党議員の被害者バッシングを危惧する声に対する「はめられたかもしれないという方がいらっしゃる。ネットなんかを見てもよく出てくる話だと思いますので、そのことに関して申し上げたんだと思いますが」という麻生大臣の発言は、職掌上今回のセクハラ問題について誰よりも多くの情報を得られるはずの大臣が、匿名が大半を占めるインターネット上の噂話を有力な説として紹介している点で大きな問題を孕んでいるように思える。